

広重の旅風景

雨・雪そして人

2022年4月10日(日)～5月22日(日)

主催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・日本経済新聞社

歌川広重(1797～1858)は、葛飾北斎とともに風景版画家として江戸時代後期の浮世絵を支えた人物です。広重は、37歳頃に刊行した「保永堂版東海道五拾三次之内」が人気を博すと、以後、風景版画の第一人者として生涯を通じて風景画を描き続けました。居ながらにして旅の気分を味わうことのできる街道絵、各地の名所を描く名所絵と、広重の風景画は多岐にわたります。

今回の展覧会では、そうした広重の風景版画の全貌を紹介します。広重の描く景色は、季節・天候・時間帯などさまざまな要素が組みあわさって魅力を放っています。そのような工夫や演出に目を配りながら、広重の描く旅風景をお楽しみいただきたいと思います。

- ・都合により出品作品が変更になる場合がございます。
- ・展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
- ・所蔵は全て個人蔵です。
- ・各版の大きさは概ね次の通りです。
大判:39×26.5cm 間判:33×23.5cm 中判:26.5×19.5cm 小判:23.5×16.5cm

【名古屋市蓬左文庫 展示室】

第1章 《保永堂版東海道五拾三次之内》 横大判 天保3年～4年(1832～33)頃

1 日本橋 朝之景	14 原 朝之富士	29 見附 天竜川図	44 四日市 三重川
2 品川 日之出	15 吉原 左富士	30 浜松 冬枯ノ図	45 石薬師 石薬師寺
3-1 川崎 六郷渡舟	16 蒲原 夜之雪	31 舞坂 今切真景	46 庄野 白雨
3-2 川崎 六郷渡舟	17 由井 薩埵嶺	32 荒井 渡舟ノ図	47 亀山 雪晴
4 神奈川 台之景	18 興津 興津川	33 白須賀 汐見阪図	48 関 本陣早立
5 保土ヶ谷 新町橋	19 江尻 三保遠望	34 二川 猿ヶ馬場	49 阪之下 筆捨嶺
6 戸塚 元町別道	20 府中 安倍川	35 吉田 豊川橋	50 土山 春之雨
7 藤沢 遊行寺	21 鞠子 名物茶店	36 御油 旅人留女	51 水口 名物干瓢
8 平塚 縄手道	22 岡部 宇津之山	37 赤阪 旅舎招婦ノ図	52 石部 目川ノ里
9 大磯 虎ヶ雨	23 藤枝 人馬継立	38 藤川 棒鼻ノ図	53 草津 名物立場
10-1 小田原 酒匂川	24 嶋田 大井川駿岸	39 岡崎 矢矧之橋	54 大津 走井茶店
10-2 小田原 酒匂川	25 金谷 大井川遠岸	40 池鯉鮒 首夏馬市	55 京師 三条大橋
11 箱根 湖水図	26 日坂 佐夜ノ中山	41 鳴海 名物有松絞	
12 三島 朝霧	27 掛川 秋葉山遠望	42 宮 熱田神事	
13 沼津 黄昏図	28 袋井 出茶屋ノ図	43 桑名 七里渡口	

【徳川美術館 本館 (第7～9展示室)】

第2章 《東海道》

行書版東海道 横間判 天保13年(1842)

56 東海道五十三次之内 程か谷 新町入口	61 東海道五十三次之内 二川 猿か馬場之図
57 東海道五十三次之内 江尻 清水之湊遠望	62 東海道五十三次之内 宮 熱田浜之鳥居
58 東海道五十三次之内 鞠子	63 東海道五十三次之内 四日市 参宮道追分之図
59 東海道五十三次之内 金谷 大井川遠岸	64 東海道五十三次之内 石薬師
60 東海道五十三次之内 見附 天龍川舟渡し	65 東海道五十三次之内 坂の下 筆捨山眺望

隷書版東海道 横大判 嘉永2年(1849)

66 東海道 五十三次 藤沢	68 東海道 五十三次 十七 由井	70 東海道 五十三次 四十六 庄野	72 東海道 五十三次 四十九 坂の下
67 東海道 五十三次 九 大磯	69 東海道 五十三次 四十四 四日市	71 東海道 五十三次 四十八 関	73 東海道 五十三次 五十二 石部

狂歌入東海道 横中判 天保13年(1842)

74 東海道五拾三次 三嶋	76 東海道五拾三次 原	78 東海道五拾三次 四日市	80 東海道五拾三次 大津
75 東海道五拾三次 沼津	77 東海道五拾三次 岡崎 矢はぎのはし	79 東海道五拾三次 石薬師 問屋場ノ図	81 東海道五拾三次 京 三条大橋ノ図

人物東海道 縦中判 嘉永5年(1852)

82	五十三次 品川	84	五十三次 沼津
83	五十三次 小田原 酒匂川かち渡	85	五十三次 江尻

86	五十三次 府中	88	五十三次 袋井
87	五十三次 藤枝	89	五十三次 桑名

豎絵東海道 大判 安政2年(1855)

90	五十三次名所図会 一 日本橋 東雲の景
91	五十三次名所図会 十一 箱根 山中夜行の図
92	五十三次名所図会 十三 沼津 足柄山不二雪晴
93	五十三次名所図会 十七 由井 薩多嶺親知らず

94	五十三次名所図会 廿七 赤坂 縄手道にて弥二郎北八を狐とおもひててふちやくする
95	五十三次名所図会 廿八 藤川 山中の里別名宮路山
96	五十三次名所図会 廿九 岡崎 矢はき川やはきのはし
97	五十三次名所図会 四十七 亀山 風雨雷鳴

双筆五十三次 大判

98	広重・国貞 双筆五十三次 品川 安政元年(1854)
99	広重・国貞 双筆五十三次 原 安政元年(1854)
100	広重・国貞 双筆五十三次 吉原 安政元年(1854)
101	広重・国貞 双筆五十三次 由井 安政元年(1854)

102	広重・国貞 双筆五十三次 石薬師 安政2年(1855)
103	広重・国貞 双筆五十三次 庄野 安政2年(1855)
104	広重・国貞 双筆五十三次 亀山 安政4年(1857)

東海道五十三対 大判 天保14年~弘化3年(1843~46)頃

105	戸塚	106	興津
-----	----	-----	----

107	亀山	108	坂の下
-----	----	-----	-----

有田屋版東海道 横小判 天保14年~弘化4年(1843~47)頃

109	東海道 五拾三次之内 一 日本橋
110	東海道 五拾三次之内 三 川崎
111	東海道 五拾三次之内 五 程ヶ谷
112	東海道 五拾三次之内 六 戸塚

113	東海道 五拾三次之内 七 藤沢
114	東海道 五拾三次之内 五十三 草津
115	東海道 五拾三次之内 五十四 大津
116	東海道 五拾三次之内 五十六 大内

東海道張交図会 大判 弘化4年~嘉永5年(1847~52)頃

117	東海道張交図会 江尻/府中/鞠子/岡部/藤枝	安政3年(1856)
118	東海道張交図会 赤坂/藤川/岡崎/池鯉鮒/鳴海	弘化4年~嘉永5年(1847~52)頃
119	東海道張交図会 亀山/関/坂之下/土山/水口	弘化4年~嘉永5年(1847~52)頃

東海道五十三図会 (美人東海道) 大判 嘉永3年~4年(1850~51)頃

120	廿七 赤坂 旅舎留女	121	廿八 藤川 小河枯水	122	四十 池鯉鮒 知立明神 神事の楽屋
-----	------------	-----	------------	-----	-------------------

第3章 《木曾海道六拾九次之内》 横大判 天保7年~9年(1836~38)頃

123	軽井沢	126	あし田	129	宮ノ越	132	醒か井
124	小田井	127	長久保	130	福しま		
125	塩なた	128	本山	131	妻籠		

第4章 《江戸・諸国・伊勢》

133	江都名所 日本ばし	横大判	天保3年~12年 (1832~41)頃	138	江都名所 両国橋納涼	横大判	天保3年~5年 (1832~34)頃
134	東都名所 日本橋之白雨	横大判	天保3年~10年 (1832~39)頃	139	江都名所 上野不忍の池	横大判	天保3年~5年 (1832~34)頃
135	名所江戸百景 隅田川 水神の杜真崎	大判	安政3年(1856)	140	京都名所之内 嶋原出口之柳	横大判	天保5年(1834)
136	名所江戸百景 愛宕下藪小路	大判	安政4年(1857)	141	近江八景之内 唐崎夜雨	横大判	天保5年(1834)
137	名所江戸百景 赤坂桐畑雨中夕けい	大判	安政6年(1859) 二代広重				

六十余州名所図会 大判 嘉永6年(1853)

142	駿河 三保のまつ原	143	伊勢 朝熊山 峠の茶屋	144	志摩 日和山 鳥羽湊	145	伊賀 上野
146	伊勢名所 二見か浦の図	大判3枚続	弘化4年~嘉永5年(1847~52)頃				
147	伊勢名所 古市伊勢おんど	大判3枚続	弘化4年~嘉永5年(1847~52)頃				
148	伊勢参宮 宮川の渡し	大判3枚続	安政2年(1855)				